

The best relationship

第一学年通信 No20

～最高の仲間たち～



2017,6,8.

・保護者の皆様へ・ 健康教育『いのちの学習』

たくさんの【中学生になったあなたへ】ありがとうございました

No17 でお知らせしたとおり、先日より

- ・「自分はたくさんのまわりの人に支えられて大きくなった」
- ・「いのちを大切にしなければいけない」
- ・「これからもしっかり生きていこう」

を主題に3時間計画で授業を行っています。

その2時間目の今日は、「妊娠、出産は当たり前ではない・親の気持ちを考えよう」です。
いただいたお手紙の中から、数点紹介させていただきます。

* この文章は、保護者皆様の了解のもと掲載しています *

あなたを授かったと知った時の嬉しさは今でも鮮明に覚えています。まだ小さすぎてエコーには写らなかったけど、お腹に手を置き、さすりながら「ありがとう」と言いました。食べ物や飲み物に気をつけ、ヒールをやめ、スニーカーを履くなど、私の生活は一変しました。しかし、1週間後に出血。慌てて病院に行くと「流産しかかっています」と言われ、そのまま入院となりました。絶対安静の中、何度か出血し、その度に涙を流したけど、あなたは私のお腹の中で成長してくれました。

退院してからは、毎回検診に行くのが楽しみでした。エコーでしか会えないけれど、検診の度に、あなたの成長に触れあなたを強く感じる事ができたからです。命が消えることなく、私のお腹の中ですくすく成長し無事産まれてきてくれたことに感謝です。子供を授かること、産まれてくること、共に時間を過ごすこと。

そこに当たり前のことなんて
何ひとつない。

全てが奇跡です。

産まれてきてくれてありがとう。

奇跡をありがとう。

怒ったりケンカする日々もありますが、
私はあなたが大好きです。



小さな頃から、あまり手のかからない子だったあなた。1度だけ、夜に病院にかけこんだ事がありました。3歳頃、夕ご飯のあと、珍しくひとりで長時間あそんでいるので、何をしてあそんでいるのかと思って見に行ってみたら、お兄ちゃんの雑誌の付録だった小さなビーズを一生懸命に鼻の穴に詰めていましたね。当直の耳鼻科が姫路にしかなく、車で1時間半かけて耳鼻科に向かい、夜中の2時に看護師さんとお母さんと3人がかりで暴れるあなたと羽交絞めしたのを覚えています。

ひとつだけ、中学生になったあなたに伝えたい事があります。「あなたは、あなたのもままでいい」って事。毎日楽しそうだけど、体力の限界と時間と戦っているよね。頑張らないといけない、やらなきゃいけない…

でもできなかったり上手くいかなかったり、辛いことがあって涙が出そうになることもあると思います。上手くいかないあなたも、頑張れないあなたも、お母さんにとっては、尊い存在です。

「あなたのまま」を大切に、
中学校生活を謳歌してください。



13年前、家族の期待の中、とても大きな産声を上げて生まれてきたあなた。私達両親にとっては、人生で最高の喜びの日となりました。小さい時は入院したり心配した時もありましたが、今ではとても丈夫に成長してくれました。保育園、小学校と少しずつ色々な事が自分でできるようになり学校での出来事などを話してくれるととてもうれしく、行事などもとても楽しかった思い出となりました。

中学生になり環境が変わり、とても忙しく時間に追われていますが、何事にも前向きにチャレンジしようとしているので応援したいです。

勉強も部活も目標をもって頑張ってもらいたいです、やはり時には心折れるような試練の時がこれから来ると思うので、

まずはしっかりと自分の心を持ち、
自分がどうなりたいのかを明確に
考えてください。

すべては自分の気持ち次第です。
また友達や周囲の人を大切にして
思いやりのある人になって下さい。
私達親はどんな時も味方ですから、
まだまだ頼って下さい！！

